

## マーケットの動き (2023年4月3日～4月7日)

先週の米国株式市場は、NYダウが上昇した一方、S&P500種株価指数がほぼ横ばいとなりました。一部の原油国による自主的な追加減産が表明されたことで資源価格の高騰と金融引き締め長期化が意識され、米国株式はディフェンシブ株を中心に買いが入りました。一方、発表された米国経済指標が相次いで市場予想を下回ったほか、米国小売大手で売上低迷がみられるなど、米国景気懸念が高まり相場の重荷となりました。

欧州株式市場は、2月のドイツ鉱工業生産指数が市場予想以上となり米国株式市場を上回る推移となりました。

## 投資環境見通し (2023年4月)

## 外国株式相場は、米国、欧州とも上値の重い展開

企業業績については、サービス業などに持ち直しの動きがみられることがプラス材料となる一方で、金融引き締め政策による景気への影響に加え、金融システム不安による信用収縮に対する懸念から、見通しが引き下げられる可能性があります。こうした中、米国では金融システム不安に対する金融当局の迅速な対応を受けて、悲観的な見方が一旦は後退したとみられます。しかし、インフレの落ち着きに時間を要するとみられる中、FRB（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締め姿勢は継続するとみられることから、株式相場の上値は重く、下押し圧力がかかりやすい状況が続くとみえています。欧州でも、中国の経済活動再開を受けた外需回復が期待される一方、実質所得の減少から消費意欲の減退が想定され、株式相場は米国市場と同様に上値の重い展開を予想しています。

	4月7日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,105.02	▲0.10%	2.98%	12.79%	▲8.78%
NYダウ	33,485.29	0.63%	1.91%	14.30%	▲3.18%

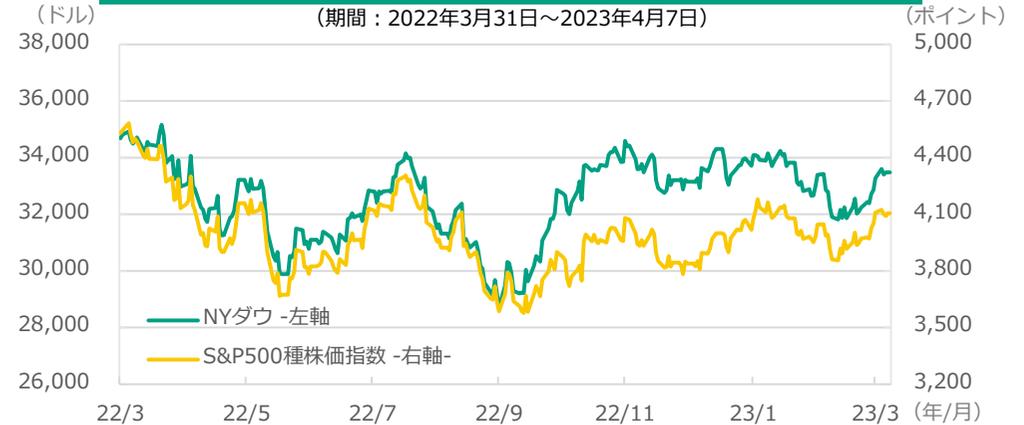
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202304\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202304_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 米国株価指数の推移



## 主要国株価指数の推移



※2022年3月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成